

# 廃棄物（ごみ）に関するアンケート調査

平成24年10月 山梨県森林環境部環境整備課

県民の廃棄物に対する考え方を把握するため、県政モニターによるアンケート調査を実施した。

## 1 アンケート調査の実施期間

平成24年7月

## 2 県政モニター数

(1) 一般モニター	(郵送によるアンケート調査)	322人
(2) インターネットモニター	(電子メールによるアンケート調査)	74人
		<b>合計 396人</b>

## 3 回答数

(1) 一般モニター	(郵送によるアンケート調査)	263人
(2) インターネットモニター	(電子メールによるアンケート調査)	54人
		<b>合計 317人</b>

**回答率 80.1%**

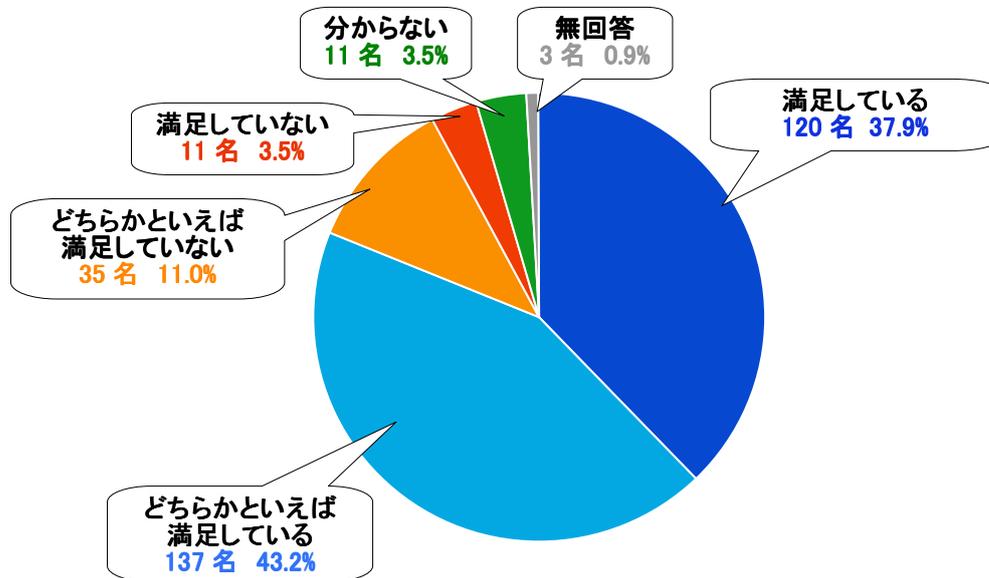
※集計の百分率は小数第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

#### 4 集計結果

##### 廃棄物（ごみ）についてお尋ねします。

【問1】 お住まいの地域の市町村が行っているごみの収集（収集回数や分別区分等）にどの程度満足していますか？（回答者：317名）

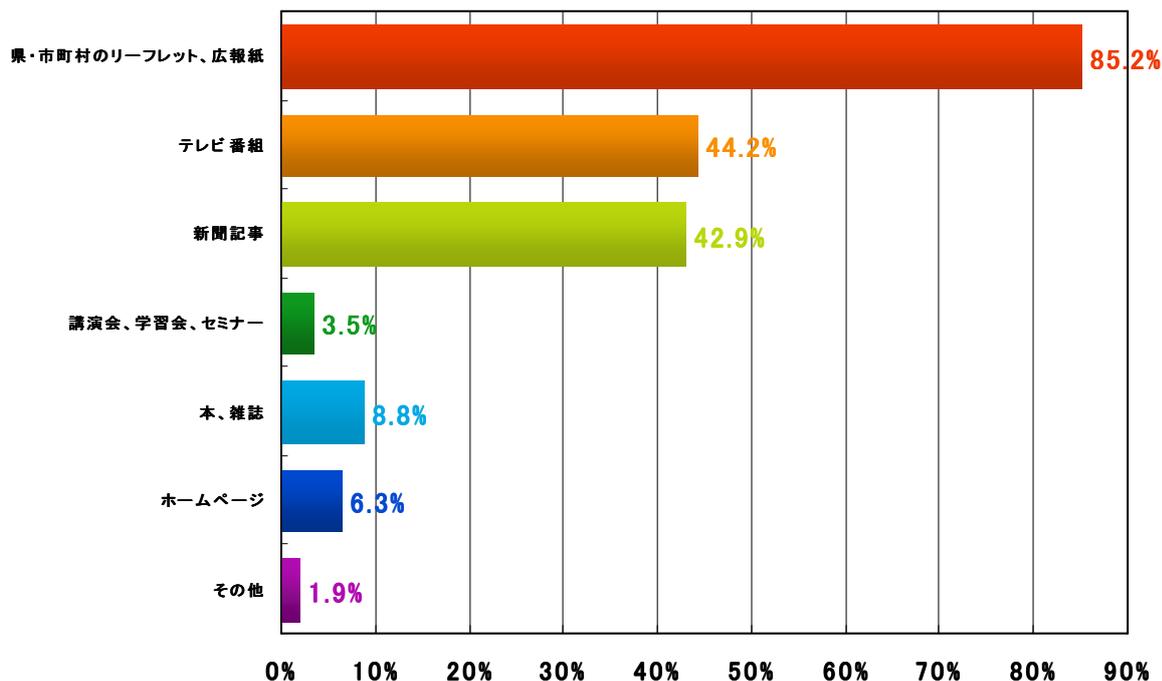
「満足している」、「どちらかといえば満足している」という回答が、81.1%でした。



【問2】 ごみ問題についての情報、知識はどこから入手していますか？（複数回答）

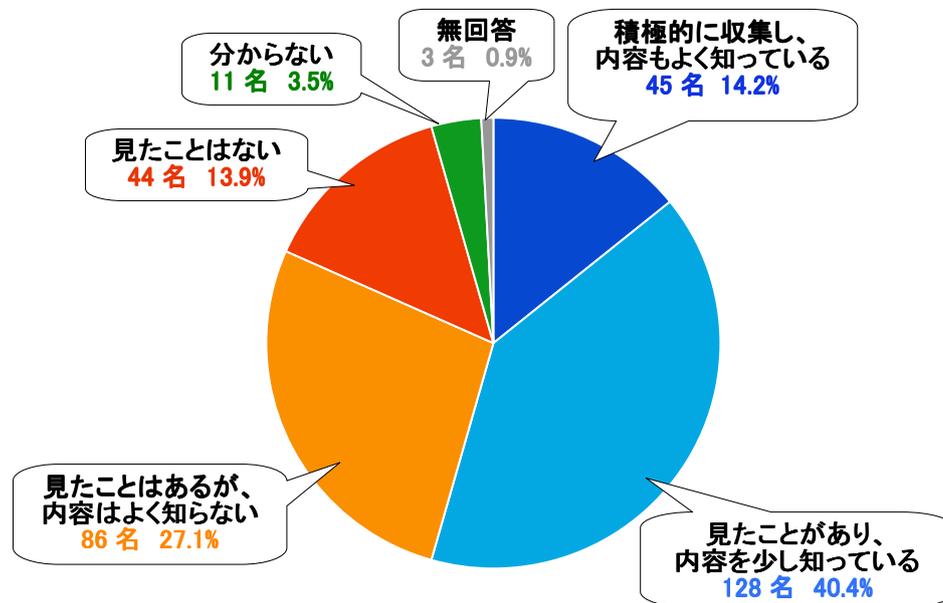
（回答者：317名）

「県・市町村のリーフレット、広報紙」という回答が85.2%、「テレビ番組」という回答が44.2%、「新聞記事」という回答が42.9%でした。



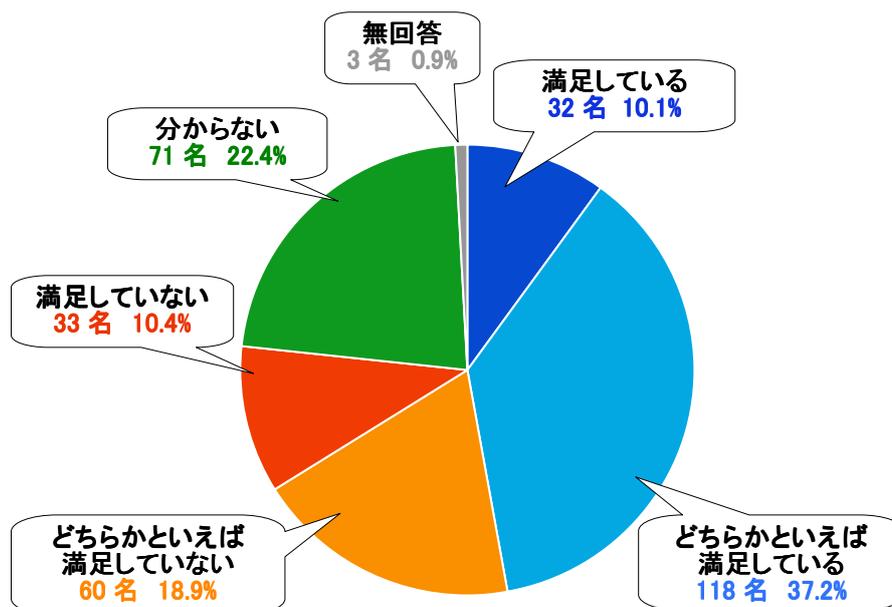
【問3】 ごみ処理や3R（排出抑制・再使用・再生利用）について、県や市町村が公開・提供している情報をどの程度知っていますか？（回答者：317名）

「積極的に収集し、内容もよく知っている」、「見たことがあり、内容を少し知っている」という回答が、54.6%でした。



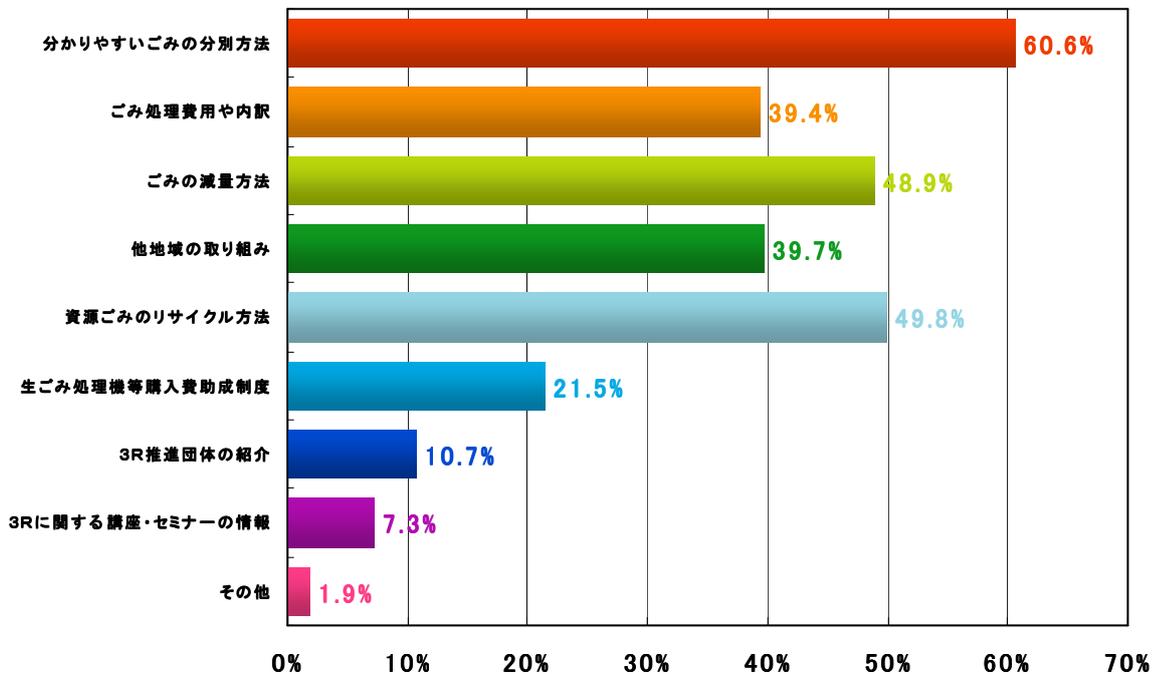
【問4】 ごみ処理や3R（排出抑制・再使用・再生利用）について、県や市町村が行っている情報の公開・提供にどの程度満足していますか？（回答者：317名）

「満足している」、「どちらかといえば満足している」という回答が、47.3%でした。



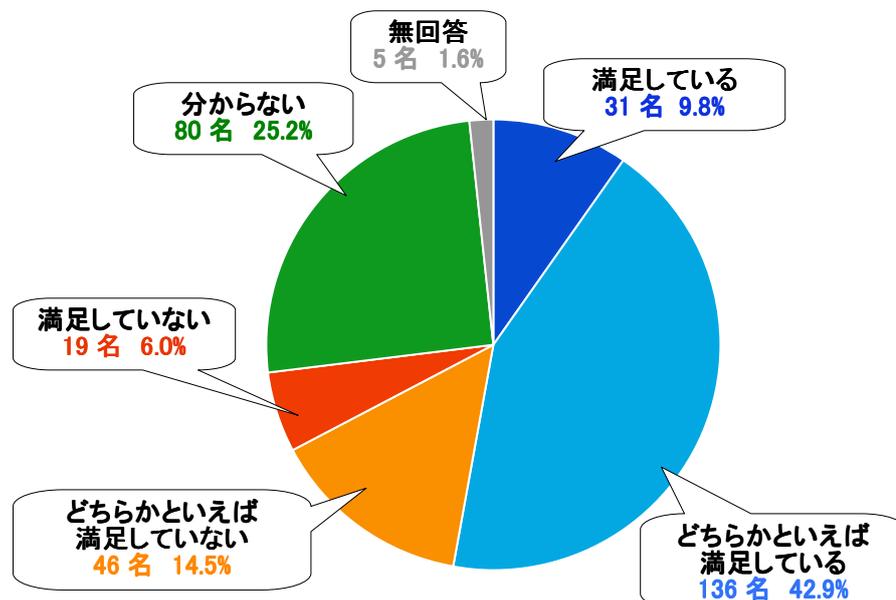
【問5】 ごみ処理や3R（排出抑制・再使用・再生利用）について、今後どのような情報が欲しいですか？（複数回答）（回答者：317名）

「分かりやすいごみの分別方法」という回答が60.6%、「資源ごみのリサイクル方法」という回答が49.8%、「ごみの減量方法」という回答が48.9%でした。



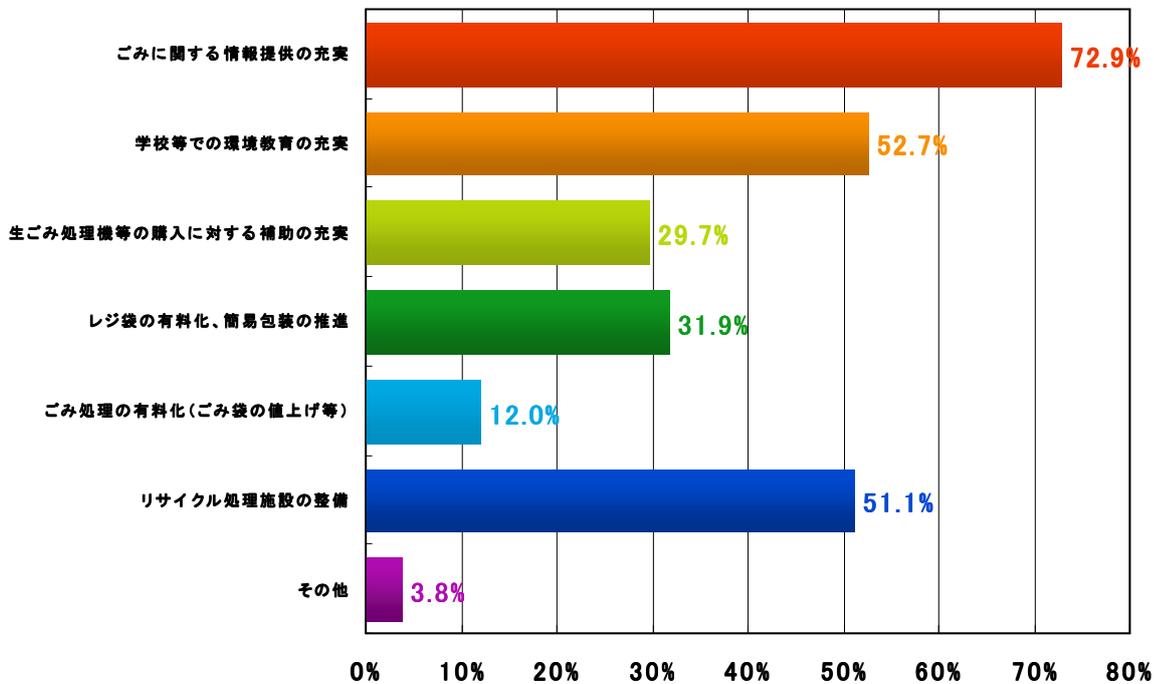
【問6】 県や市町村が行っている3R（排出抑制・再使用・再生利用）への取り組みにどの程度満足していますか？（回答者：317名）

「満足している」、「どちらかといえば満足している」という回答が、52.7%でした。



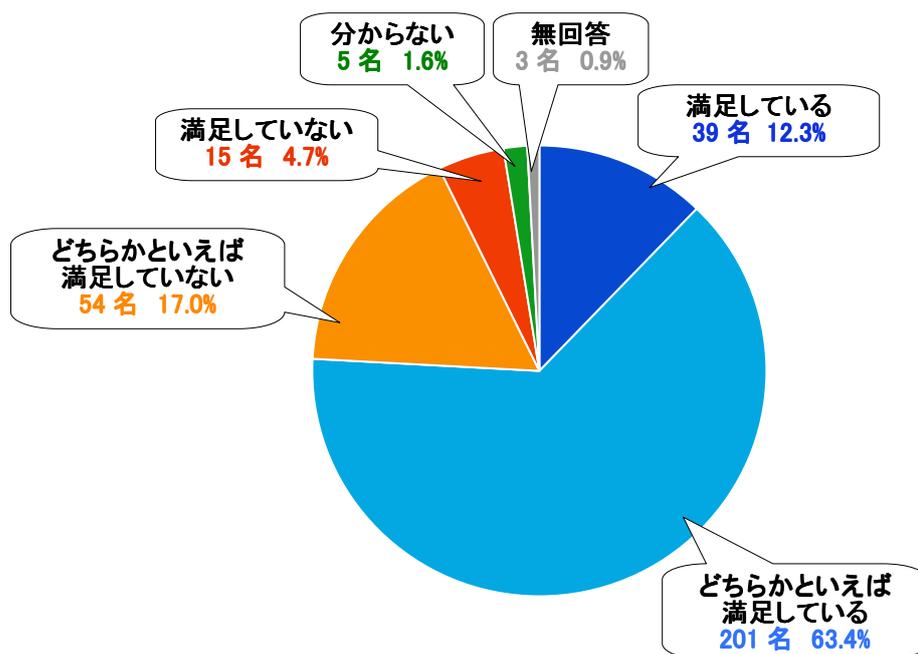
【問7】 3R（排出抑制・再使用・再生利用）を推進するために、今後、力を入れるべきだと思うのは何ですか？（回答者：317名）

「ごみに関する情報提供の充実」という回答が72.9%、「学校等での環境教育の充実」という回答が52.7%、「リサイクル処理施設の整備」という回答が51.1%でした。



【問8】 お住まいの街の清潔さにどの程度満足していますか？（回答者：317名）

「満足している」、「どちらかといえば満足している」という回答が、75.7%でした。

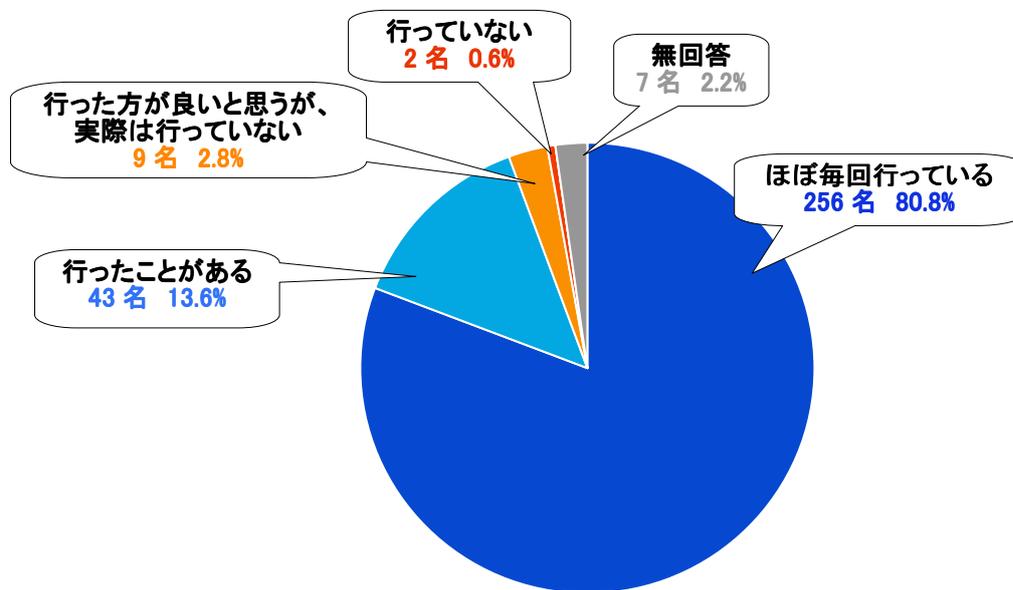


あなたが現在行っているごみ減量化の取り組みについてお尋ねします。

【問9】 ごみを減らすために、買い物袋を持参したり、レジ袋を断ったりしていますか？

(回答者：317名)

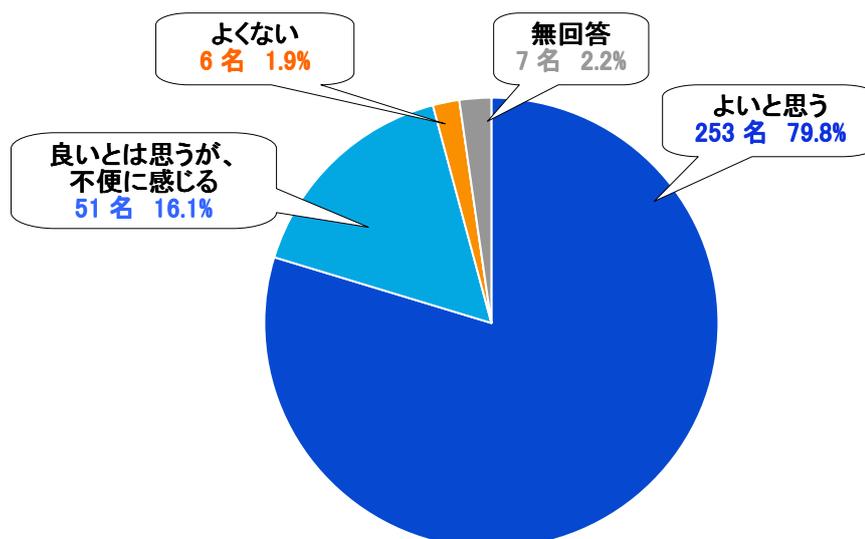
「ほぼ毎回行っている」、「行ったことがある」という回答が、94.4%でした。



【問10】 スーパーなどでレジ袋有料化が進んでいますが、どう思われますか？

(回答者：317名)

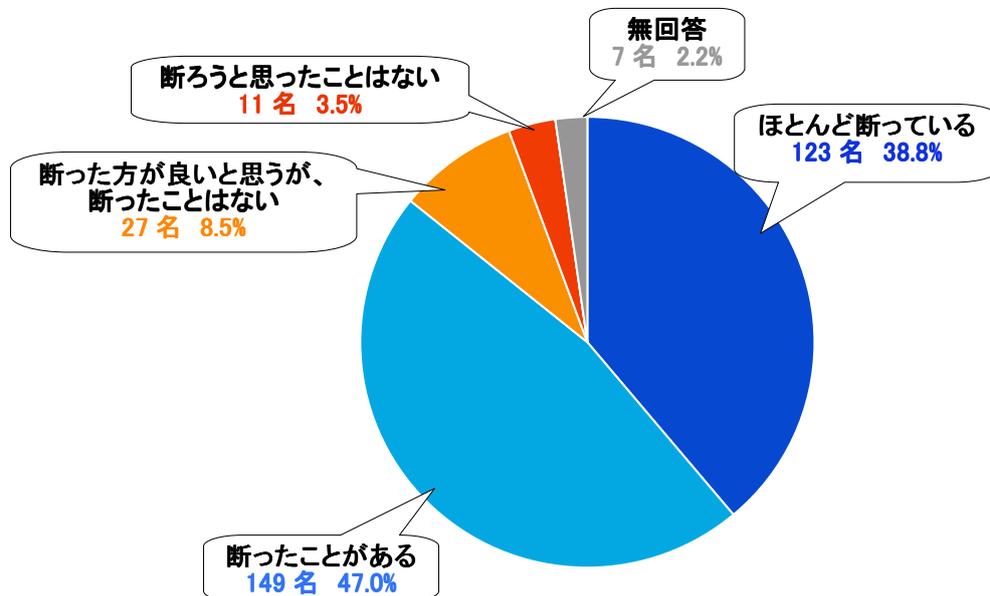
「よいと思う」という回答が、79.8%でした。



【問1 1】 ごみを減らすために、店での過剰包装や不要な包装を断っていますか？

(回答者：317名)

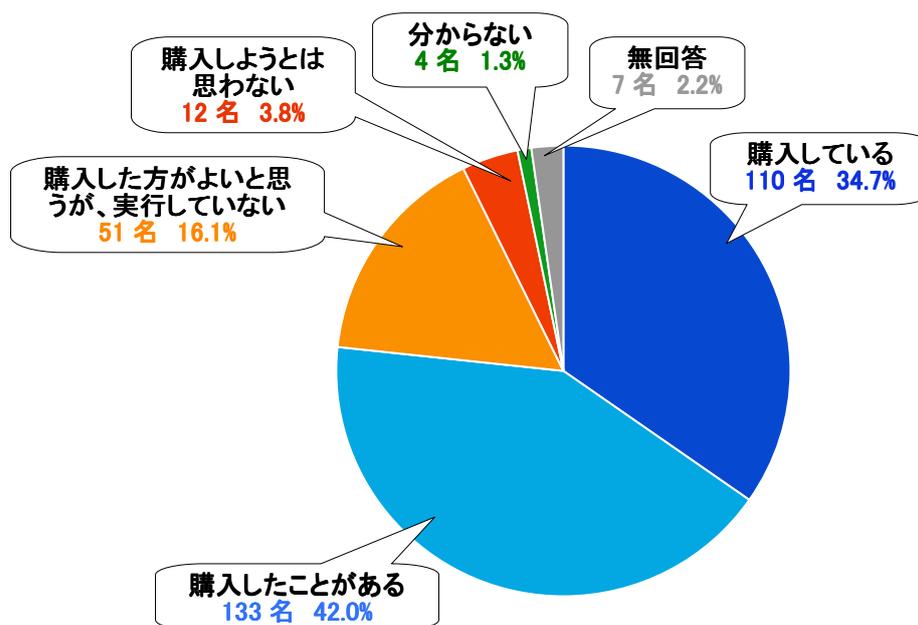
「ほとんど断っている」、「断ったことがある」という回答が85.8%でした。



【問1 2】 あなたは商品を購入するとき、包装されていないなどの、ごみが少なくなる商品や、長期間使用できる商品（使い捨て商品でないもの）を選んで購入していますか？

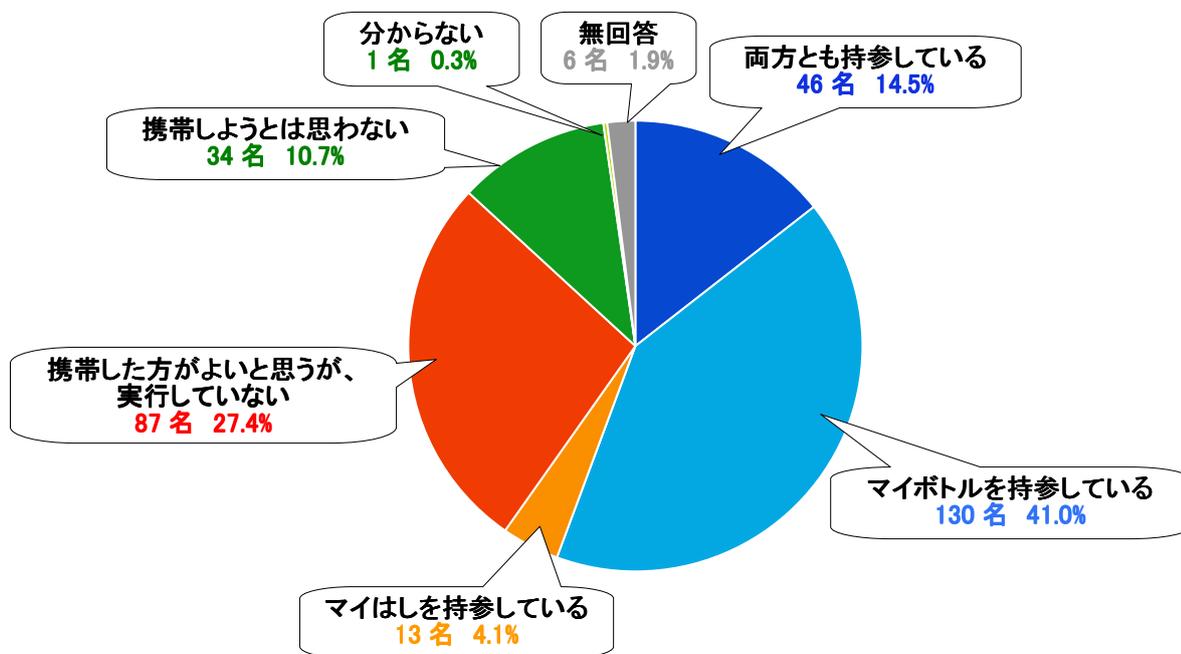
(回答者：317名)

「購入している」、「購入したことがある」という回答が、76.7%でした。



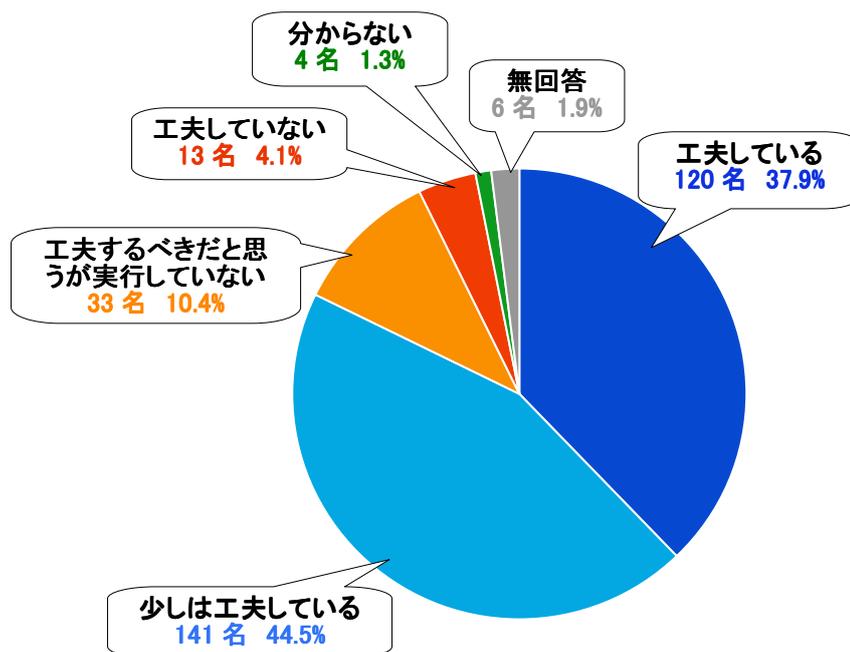
【問13】 ご自分の水筒等（マイボトル）やはし（マイはし）を携帯して、不要な容器や割りばしなどを断るようにはしていますか？（回答者：317名）

「両方とも持参している」、「マイボトルを持参している」、「マイはしを持参している」という回答が59.6%でした。



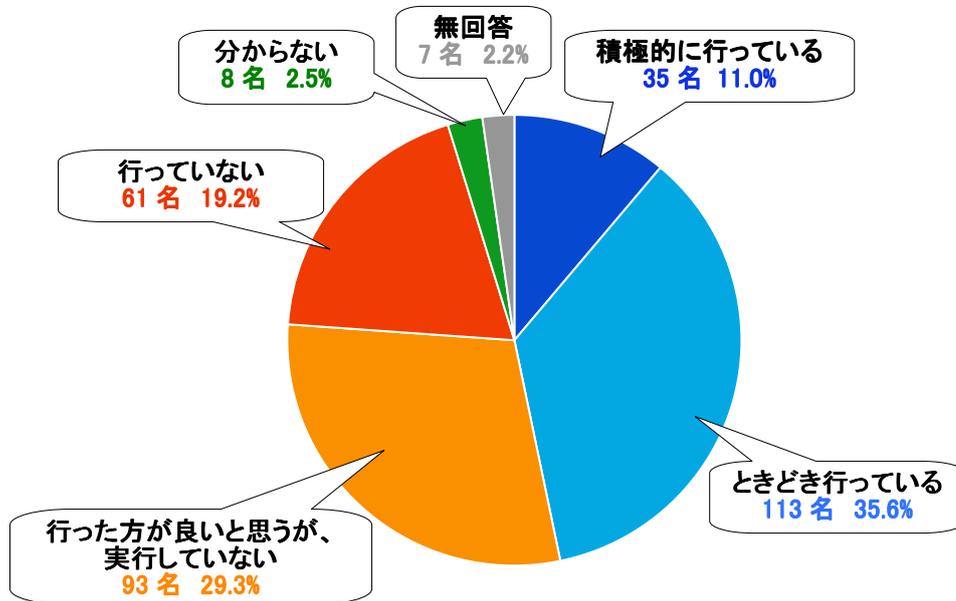
【問14】 残り物を利用するエコクッキングをしたり、食材の買いすぎ、作りすぎに注意するなど、生ごみを少なくするような工夫をしていますか？（回答者：317名）

「工夫している」、「少しは工夫している」という回答が、82.4%でした。



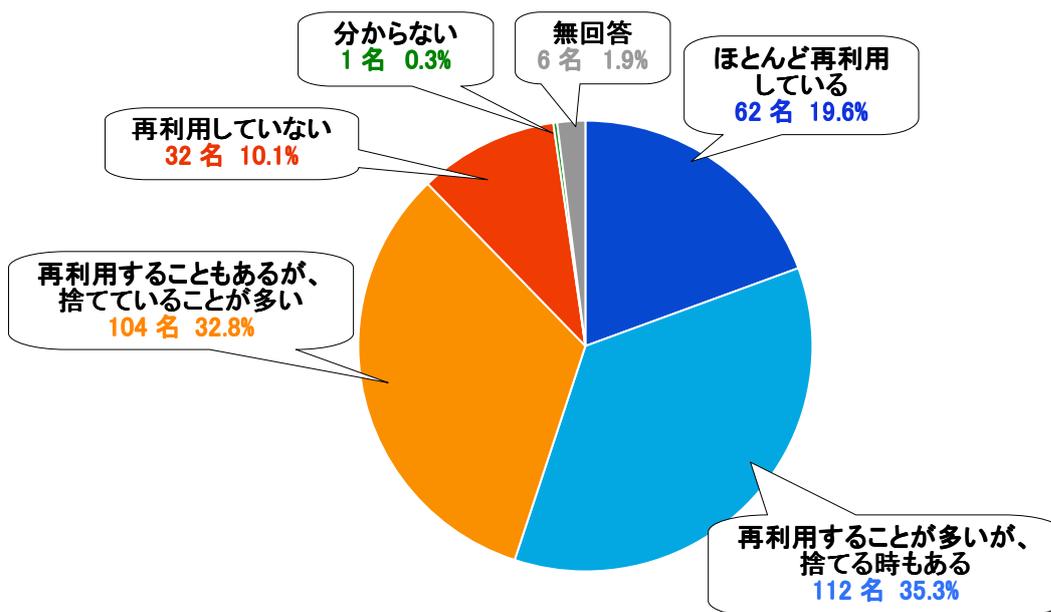
【問15】 一時的に必要な物については、レンタルなどの利用やリユース品（中古品）の購入などを行っていますか？（回答者：317名）

「積極的に行っている」、「ときどき行っている」という回答が、46.6%でした。



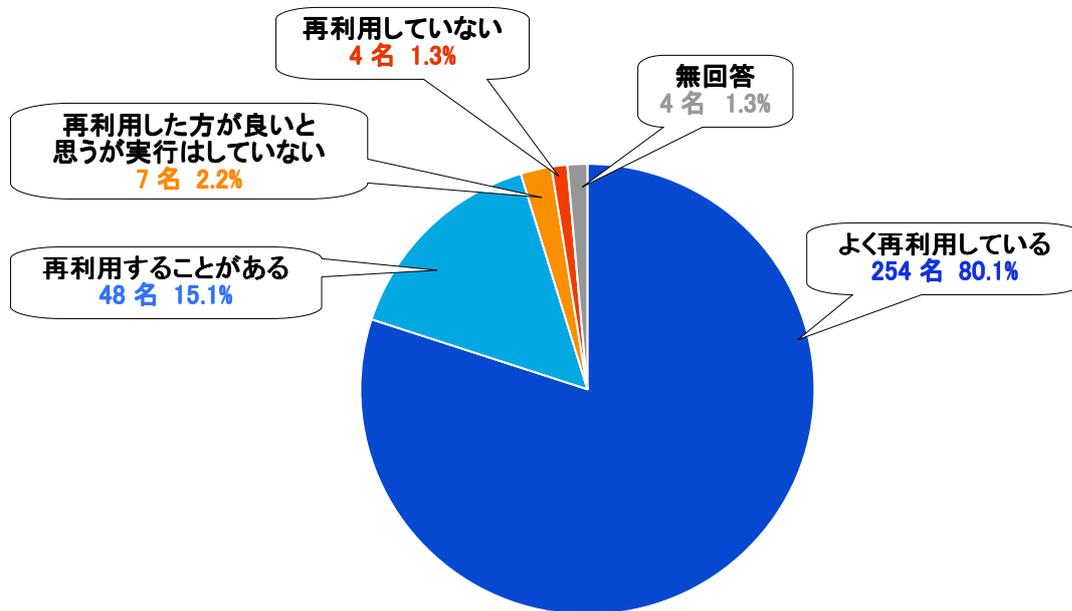
【問16】 古着などは捨てるずに、資源物の回収や、フリーマーケットに出したり、雑巾に加工するなど再利用していますか？（回答者：317名）

「ほとんど再利用している」、「再利用することが多いが、捨てる時もある」という回答が54.9%でした。



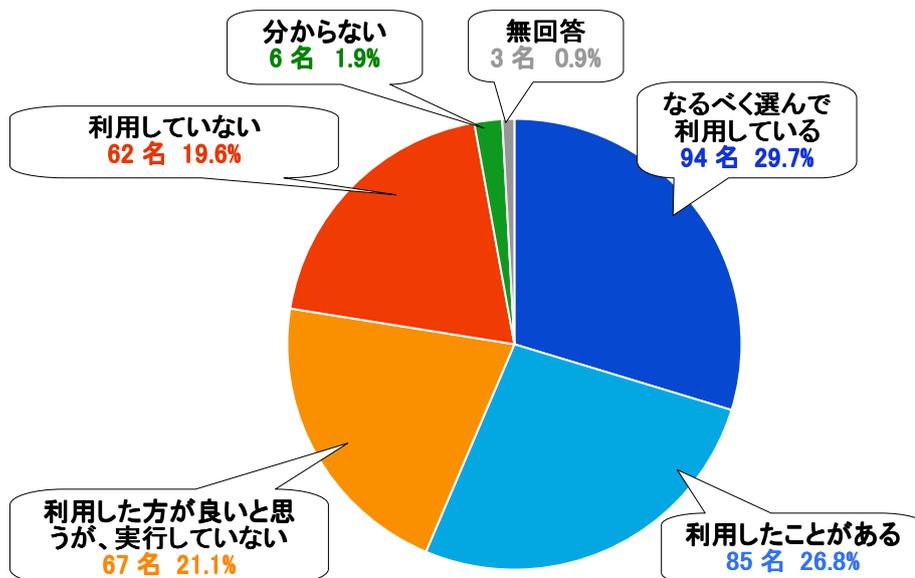
【問17】 洗剤やシャンプーなどは中味を詰め替えられる商品を選択し、容器の再利用（リユース）をしていますか？（回答者：317名）

「よく再利用している」、「再利用することがある」という回答が、95.2%でした。



【問18】 ビン入りのビールやジュースを選んで購入し、飲んだら空きピンを店に返すなど、リターナブル容器（再使用が可能な容器）の利用に心がけていますか？（回答者：317名）

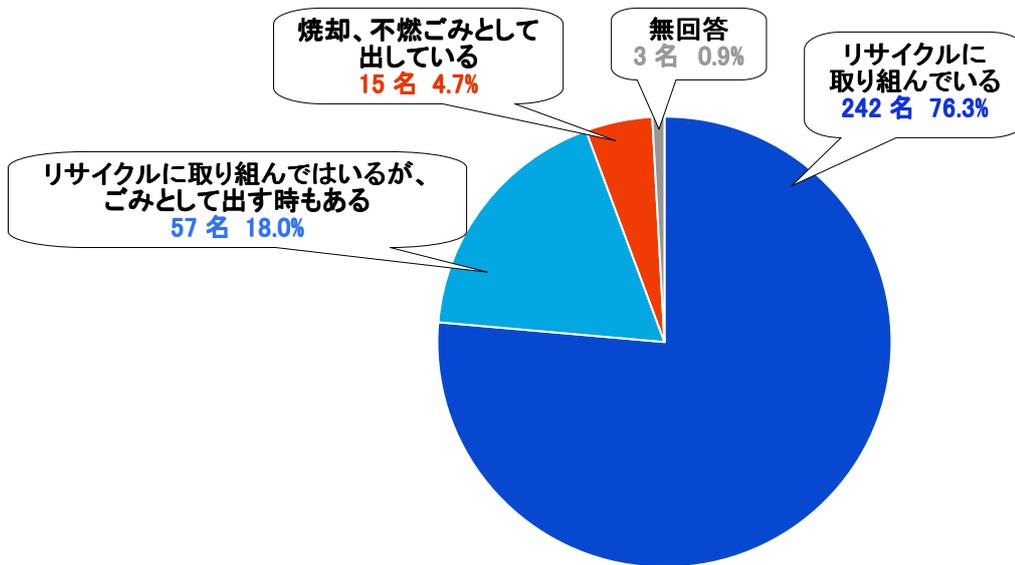
「なるべく選んで利用している」、「利用したことがある」という回答が、56.5%でした。



**ごみのリサイクルについてお尋ねします。**

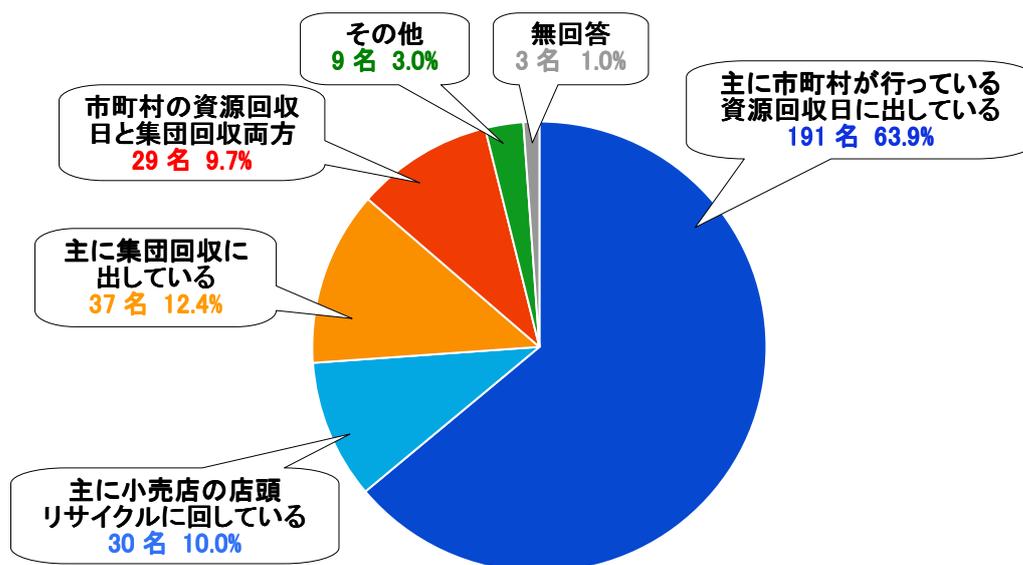
【問19】 ごみ減量化のため、缶、ビン、ペットボトルなどのリサイクルに取り組んでいますか？（回答者：317名）

「リサイクルに取り組んでいる」、「リサイクルに取り組んではいるが、ごみとして出す時もある」という回答が94.3%でした。



【問20】 問19で「リサイクルに取り組んでいる」又は「リサイクルに取り組んではいるが、ごみとして出す時もある」と回答した方にお聞きします。具体的にどのように取り組んでいますか。（回答者：299名）

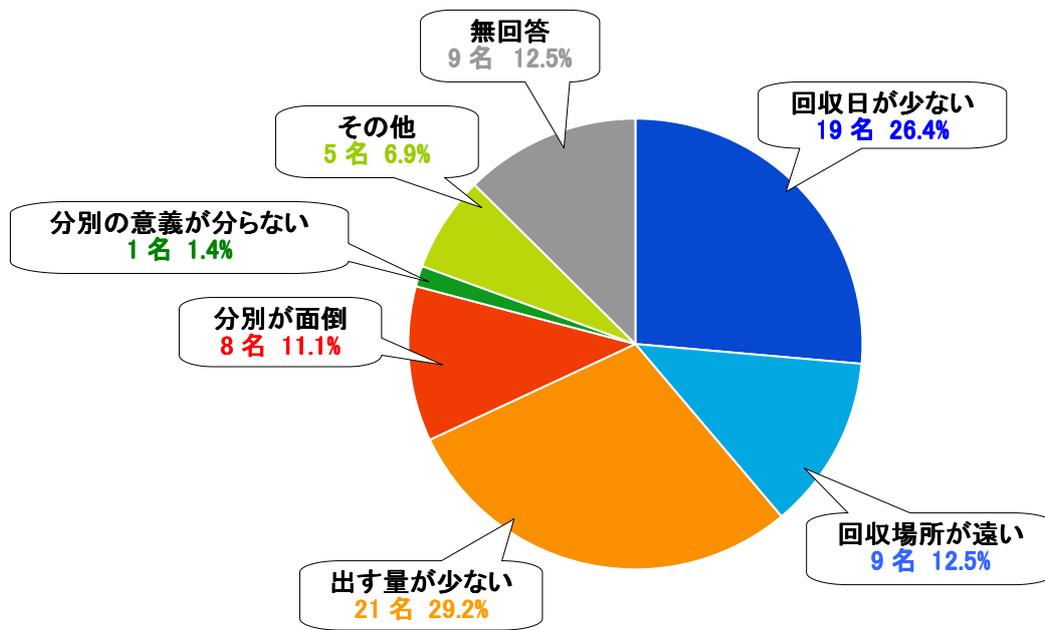
「主に市町村が行っている資源回収日に出している」という回答が、63.9%でした。



【問21】 問19で「リサイクルに取り組んではいるが、ごみとして出す時もある」又は「焼却、不燃ごみとして出している」と回答した方にお聞きします。リサイクルではなく、焼却ごみ又は不燃ごみとして出している理由で主なものを一つ選んでお答え下さい。

(回答者：72名)

「回収日が少ない」という回答が26.4%、「出す量が少ない」という回答が29.2%でした。



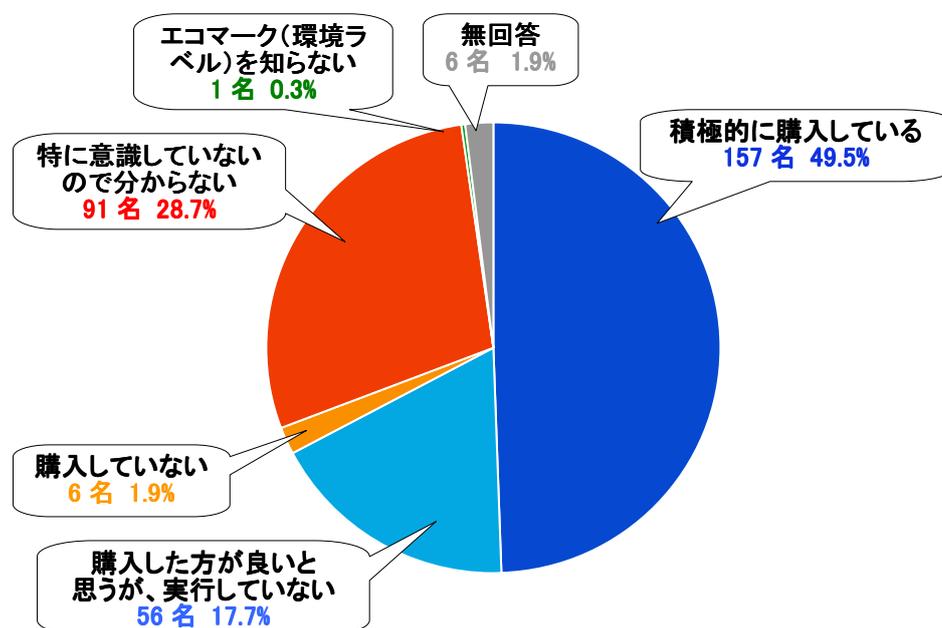
【問22】 エコマーク（環境マーク）など、環境にやさしい商品であることを表すマーク（いわゆる環境ラベル）の入った商品を購入していますか？（例 再生紙トイレットペーパー、再生原料の台所商品、再生原料使用の文具など）（回答者：317名）

環境ラベル 一例 )



など

「積極的に購入している」という回答が49.5%でした。

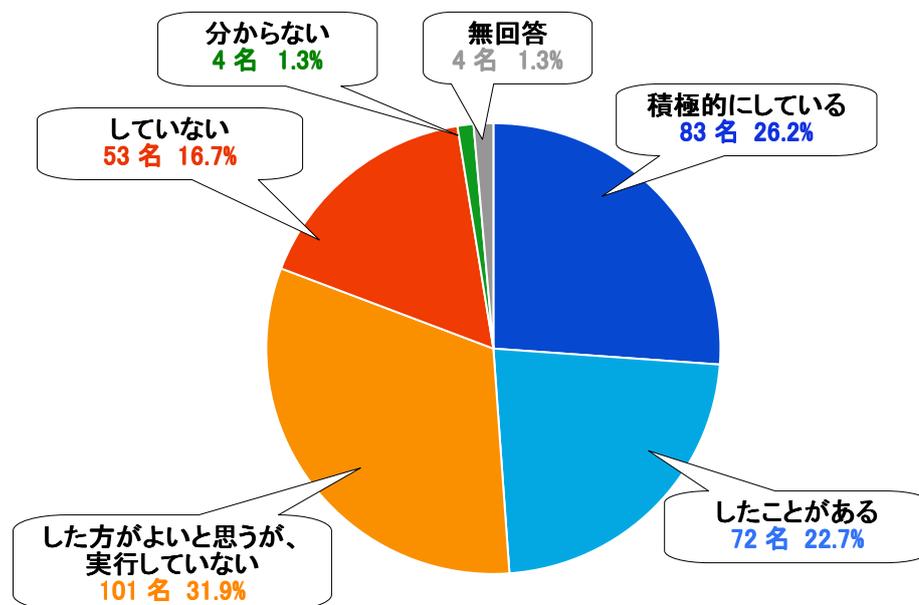


生ごみは可燃ごみの15.3%（重量比・H21年度実績）を占めていますが、その多くが焼却処理されています。ごみの減量化にとって、生ごみの処理は重要な課題です。そこで、生ごみについてお尋ねします。

【問23】 生ごみの減量化（乾燥など）、堆肥化等のリサイクルをしていますか？

（回答者：317名）

「積極的にしている」、「したことがある」という回答が、48.9%でした。



【問24】 生ごみを減らしていくにあたって、新たな具体的な取り組み等何かご意見をお持ちですか？

（主なご意見）

- ・ 各家庭で処理できるような取り組みが必要。コンポストも狭い所における大きさのものや、見た目の良いものがあれば設置したいと思う。
- ・ 市からの補助金を利用して生ごみ処理機を購入した。より多くの人が家庭で生ごみ処理できるようになればと思う。
- ・ 生ごみ処理機の補助金制度について、知らない人が多いと思う。さらなるPR活動が必要。
- ・ コンポストの利用など、効果的に生ごみの減量を行っている家庭にメリットが生まれるシステム作りが必要。
- ・ 野菜の茎や皮をきんぴらにしたり、出汁を取るのに利用している。
- ・ 生ごみは堆肥にするのが理想だと思うが、家庭によっては大変難しい。無駄なものは買わない、水をよく切ってから捨てるなど、すぐに出来ることから行っていきたい。
- ・ 堆肥化等の具体的な方法を広報などで発信して欲しい。
- ・ ディスポーザーが便利なので、より普及して欲しい。
- ・ 集合住宅単位で生ごみ処理機を設置する。
- ・ 飲食店やスーパーに生ごみ処理機を設置する。
- ・ スーパーにある生ごみ処理機を利用する。

山梨県民の1人1日当たりのごみの排出量は、H19年度実績が1,059g、H20年度実績が1,032g、H20年度実績が1,013gであり、減少傾向にあります。そこで、ごみ減量化についてお尋ねします。

【問25】 ごみを減らしていくにあたって、重要と思われることや新たな取り組み等何かご意見をお持ちですか？

(主なご意見)

- ・ 分別を徹底することでまだごみは減量する。そのためにも、分別方法を分りやすく取広めていくことが大切だと思う。
- ・ レジ袋と同様に包装や食品トレイを有料化する。マイバッグが普及したように効果は大きいと思う。
- ・ 学校のごみの分別を強化し、子ども達の意識を向上させる。
- ・ リサイクルや不法投棄といったごみ問題を、学校教育の中に組み込んで欲しい。
- ・ ごみ処理費用や排出量などを、より周知させることで意識の向上につながると思う。ポスターやパンフレットだけでなく、テレビなどのメディアを使った幅広い取り組みをするべき。
- ・ リサイクルやリユースに対する関心が高まるようなイベントを企画する。
- ・ 資源ごみを持ち込める施設や回収日を増やす。
- ・ 過剰包装を減らすだけで大きな効果があると思う。消費者が簡易包装を選ぶには限界があるので、企業側の努力が大きいと思う。